

第3次行財政改革前期実施計画の進捗管理の概要

参考資料2 (2/2)
※(1/2)は前回会議で配布済

【総務局】

<達成状況の凡例>
「計画より進んでいる：◎」、「計画通り進捗している：○」、「計画より遅れている：△」、「実績なし：×」、「実施時期が到来していない：ー」

No	基本方針	改革の方向	取組項目	取組概要	平成28年度実績										検証(原因・分析)	今後の対応策			
					工程	指標			効果額(単位:千円)				削減人員(単位:人)						
					達成状況	達成状況	指標	計画	実績	達成状況	区分	計画	実績	達成状況			計画	実績	
1	I 市民協働・官民連携の推進	2 官民連携の推進と民間活力の活用	民間企業との交流研修の推進	民間企業交流研修：H24年度から実施している民間企業交流研修(※)を継続して実施します。 (※市と民間企業との間で職員(社員)を派遣し合い、相互に実施する実務研修)	○	△	民間企業交流研修に参加した職員の数(H24からの累計)	17人	16人	△	収入増額							民間企業交流研修は職員を相互に派遣するため、企業にとっては市への職員派遣が可能であること、一方、市にとっては企業が市派遣職員の育成に資する組織であることが求められることから、交流先の確保に苦慮しています。	交流予定企業との調整を早期に実施することで、交流企業の確保に努めていきます。
2	I 市民協働・官民連携の推進	2 官民連携の推進と民間活力の活用	指定管理者制度の導入の推進	<指定管理者制度の導入・検討> 直営または民間委託等で運営する施設について、指定管理者制度導入の効果を調査・検討し、スポーツ施設や文教施設など、市民サービスの向上やコスト削減などの導入効果が見込まれる施設は、積極的に導入を進めていきます。	○	○	指定管理新規導入施設数	3施設	3施設	◎	収入増額	実績報告	9,734					—	—
3	I 市民協働・官民連携の推進	2 官民連携の推進と民間活力の活用	指定管理施設における利用料金制の導入の推進	<利用料金制導入施設の検討・審議・導入> 利用料金制を導入していない指定管理施設について検討を行います。利用料金制導入による効果が見込まれる施設については、指定管理者更新に合わせ、利用料金制への移行を進め、更なる民間活力の活用を推進します。	○	○	利用料金制新規導入施設数	35施設	35施設	◎	収入増額							—	—
4	I 市民協働・官民連携の推進	2 官民連携の推進と民間活力の活用	外郭団体の経営計画の適正な実施と評価	<指針に基づく取組の実施> 公益性の検証結果等を踏まえ、H26年度に策定予定の指針に基づき、団体の財政基盤の強化等に取り組みます。また、外郭団体自身が実施すべき取組を定め、その指針に基づき、団体は経営計画を作成します。 <取組の評価> 計画に基づく団体の取組については、毎年、点検、評価していきます。	△	×	経営計画の確実な実施	11団体	0団体	△	収入増額							H28年度は外郭団体を活用し、及び外郭団体と連携するに当たって共通する考え方を定めた指針を策定しました。また、市の関係部局長等と全外郭団体との意見交換会準備会を開催し、指針の概要、指針に基づく今後の取組について、意識の共有化を図りました。しかし、指針の策定にとどまったため、指針を前提とした計画の進捗管理等ができませんでした。	今後、指針に基づき、市が外郭団体に求める役割を方針として示し、これを踏まえて各団体における経営計画の策定を進めます。
5	I 市民協働・官民連携の推進	2 官民連携の推進と民間活力の活用	まちづくり公社保有施設の有効活用について	<施設の有効活用> 市のアセットマネジメント基本方針を参考に、公社所有の施設について、それぞれ利用率や維持管理費等を検証のうえ、今後の施設のあり方を整理します。 あわせて、コミュニティホール七間町の多目的ホールの稼働率向上に向けた取組や広報活動を行います。	△	◎	多目的ホール稼働率	26%	31.7%	△	収入増額							施設の有効活用に向けた方針については、外郭団体のあり方に係る指針及び同指針に基づくまちづくり公社の経営計画との整合を図る必要があるところ、経営計画の策定に至っていないため、方針を策定することができませんでした。	今後予定されている、まちづくり公社の経営計画の策定後、方針を策定し取組を実施します。
6	I 市民協働・官民連携の推進	3 開かれた市政の推進	職員の広報マインドの向上	研修の実施：市政情報を積極的に発信するため、職員の広報マインドの向上を図り、より実践的で効果的な研修を開催します。 [内容]・各課の事業に適した広報手法、・各課と広報課の広報実施における連携、・効果的な報道資料の書き方と提供時期 など	○	○	職員の広報に対する重要度の意識率(H26)	85%以上	88.2%	◎	収入増額							—	—
7	I 市民協働・官民連携の推進	3 開かれた市政の推進	メディアミックス広報等による情報発信	新たな広報媒体の活用：近年普及しているスマートフォン等に対応した伝達性、拡散性に優れたSNSなどのICTや、ワイヤーサービスなど多様な媒体を活用し、市民はもとより、市外に向けたより広範囲で効果的な情報発信の手段を検討、実施します。	◎	△	市政に関心がある市民の割合(H25)	80%以上	75.8%	△	収入増額							情報発信方法(見せ方)に工夫が足りないことが原因と考えられます。	新たな広報媒体も活用し、メディアミックス広報により市政の戦略的な情報発信を行います。
						◎	市ホームページの総アクセス数(H25)	1,649万件	1,673万件	◎	削減額								
											投資的経費								

No	基本方針	改革の方向	取組項目	取組概要	平成28年度実績										検証(原因・分析)	今後の対応策				
					工程	指標				効果額(単位:千円)				削減人員(単位:人)						
						達成状況	達成状況	指標	計画	実績	達成状況	区分	計画	実績			達成状況	計画	実績	
24	II 質の高い行政運営の推進	3 ICTの高度利用による情報化の推進	統合型GISの構築	GISシステムの統合:GISシステムを利用する各所属と調整し、必要な範囲でシステムを統合します。	○	—	GISの利用所属数	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
25	II 質の高い行政運営の推進	3 ICTの高度利用による情報化の推進	公衆無線LAN事業の推進	公衆無線LANアクセスポイントの設置:公衆無線LANアクセスポイント設置を官民連携(協議会)で推進し、オープンデータ事業(アプリ、観光サイト作成)等との連携を図ります。	○	◎	アクセスポイント累計設置数(H26 127箇所)	330箇所	379箇所	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
26	II 質の高い行政運営の推進	3 ICTの高度利用による情報化の推進	情報システムのクラウド化の推進	システムの統合検討:システム統合を進める中で、仮想化技術等の利用により、業務システムのサーバー数を抑え、プライベート・クラウドまたは、データセンター型クラウドに統合・集約する手法を検討していきます。	△	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	住民情報系の情報システムのクラウド化の推進について、各システムの現状把握に想定していたよりも時間を要してしまった。また方針決定するにあたって他市町村の状況調査等に不測の時間を要してしまった。	平成29年度の初旬に方針決定を行い、計画通りの平成30年度にクラウド基盤の構築ができるよう進めていく。	
27	II 質の高い行政運営の推進	3 ICTの高度利用による情報化の推進	職員の情報セキュリティ対策の維持・向上	セキュリティ監査・研修の実施:最新の知見を取り入れた情報セキュリティ対策が構築、運用等できるよう、情報システムやウェブサイトの脆弱性、IT資産管理台帳の整備等、高い専門性が求められる分野に対する外部監査を手厚くし、第三者(セキュリティ専門家)の視点から改善指摘等を実施することで、セキュリティ対策の維持、向上に取組みます。	○	○	外部監査で緊急度中以上の改善提言を受けた所属数	5所属以下	4所属	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
28	II 質の高い行政運営の推進	3 ICTの高度利用による情報化の推進	統合型内部情報システムの構築	①システムの統合検討:迅速性、確実性という電子決裁効果も踏まえ、新たに庶務事務、旅費事務等をシステムに加えることを検討します。また仮想化技術等の活用により構成機器及び管理業務の効率化を図ることとします。②電子決裁の全面導入検討:電子決裁を全面的に導入し「レスペーパー」の取組みを進めるとともに、事務の効率化と意思決定の迅速化を目指します。	○	—	—	—	—	◎	—	8,433	38,119	—	—	—	—	—	—	
29	III 持続可能な財政運営の確立	1 健全な財政運営の推進	静岡型行政評価制度の活用	<政策・施策評価> H28年度から政策・施策評価を実施します。 <事務事業評価> 事務事業評価結果を予算に反映させる仕組みづくりを行うほか、2次評価結果を予算に確実に反映させます。	○	○	2次評価対象事業の見直し率	100%	100%	△	—	9,187	8,757	—	—	—	—	—	収入増額の取組が未達成となった原因としては、玉川キャンプ場の使用料収入については、天候不順などもあって、想定していたよりも利用者数が少なかったことなどの影響が考えられます。 ※所管局は、観光交流文化局	キャンプ場の利用率向上に向けたPR策を進めるなどとして、収入確保を図ります。
30	III 持続可能な財政運営の確立	1 健全な財政運営の推進	事務事業の見直しによるコスト削減等(防災行政無線の整理・再整備)	無線の再整備:通信設備のうち、防災行政無線(移動系)は、アナログ波の低周波数帯を使用しているため、長距離通信に優れる特性と、回折性(電波が遮蔽物の陰に回り込む)という特性を有しています。その特性を活用し、山間地等のデジタル波の届きにくい地域における通信設備の補完手段や、区本部と被災現場との通信設備等として再配備し、災害時の効果的な通信(連絡)体制の強化を図ります。その際、配備が不要となる無線局(無線機)を整理することにより、概ね40台程度の削減を図ります。	○	◎	無線削減台数	40台	85台	◎	—	—	333	408	—	—	—	—	—	
31	III 持続可能な財政運営の確立	1 健全な財政運営の推進	事務事業の見直しによるコスト削減等(待合室の有効活用)	スペースの有効活用:姉妹都市等からの寄贈品や所有している書や絵画などを整理するとともに、産業振興課と連携し、展示物を定期的に入れ替えたり、市の取り組みをPRするコーナーを設けるなど、スペースの有効利用を図ります。	◎	◎	展示品入替回数	3回	8回	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

No	基本方針	改革の方向	取組項目	取組概要	平成28年度実績										検証(原因・分析)	今後の対応策			
					工程	指標				効果額(単位:千円)				削減人員(単位:人)					
					達成状況	達成状況	指標	計画	実績	達成状況	区分	計画	実績	達成状況			計画	実績	
32	Ⅲ 持続可能な財政運営の確立	1 健全な財政運営の推進	印刷・広報物等への広告事業の推進	<p><カタログによる広告事業> 広告事業として可能性の高い媒体をカタログ化して広告主へ周知し、新たな広告掲載媒体を確保します。 <パンフ・パンフ・雑誌カバー等への広告掲載> 現在実施する広告事業(20媒体)を継続するとともに、新たに雑誌カバーやパンフレットへ広告を掲載し、収入確保やコスト削減に努めます。</p>	△	△	新規広告導入数	5事業	1事業	△	収入増額	10,306	5,225				既存の広告事業(22媒体(※費用対効果が低いことから1媒体廃止))を継続し、5,225千円の収入を得ましたが、広告主を確保できない媒体等があったため、計画額に達しませんでした。	H29年度は、導入可能性の高い媒体について所管課と連携し事業化を促進します。	
						△	△	広告掲載媒体数(累計)	30事業	23事業	△	削減額	10,813	16,671					
33	Ⅲ 持続可能な財政運営の確立	1 健全な財政運営の推進	ネーミングライツの推進	<p><日本平球技場ネーミングライツの継続> ネーミングライツ事業を継続し、財源確保、愛称の定着、スタジアムを活用した社会貢献事業を行います。 <ネーミングライツの新規導入> 動物園、スポーツ施設、産業振興施設等について、調査・検討を進め、積極的に導入するよう取組みます。</p>	△	○	ネーミングライツ導入数(累計)	1施設	1施設	○	収入増額	15,428	15,428				日本平球技場ネーミングライツ事業を継続し、15,428千円の収入を確保しました。また、ネーミングライツの新規導入について、調査・検討を進めてきましたが、ユニークベニューの取組と併せて当事業を進めることとしたため、対象施設の選定・公募には至りませんでした。	H29年度は、ユニークベニューとともにネーミングライツを推進していきます。	
34	Ⅲ 持続可能な財政運営の確立	1 健全な財政運営の推進	公の施設使用料の見直し	<p><使用料の見直し> 施設使用料の定期的な見直し・検証を進め、行政サービスに対する「公平性・公正性」を確保します。</p>	○	○	使用料改定新規施設数	23施設	23施設	◎	収入増額	35,728	38,448				-	-	

第3次行財政改革前期実施計画（平成28年度実績）の達成状況の概要

【企画局】

＜達成状況の凡例＞
 「計画より進んでいる：◎」、「計画どおり進んでいる：○」、「計画より遅れている：△」、「実績なし：×」、「実施時期が到来していない：－」

No	基本方針	改革の方向	取組項目	取組概要	平成28年度実績										検証（原因・分析）	今後の対応策								
					工程	指 標				効果額（単位：千円）				削減人員（単位：人）										
						達成状況	達成状況	指標	計画	実績	達成状況	区分	計画	実績			達成状況	計画	実績					
1	I 市民協働・官民連携の推進	1 市民参加・協働の推進	地方分権改革への対応と権限移譲に係る執行体制の確立	＜権限移譲協議の実施＞ 分権一括法（第4次）及び「ふじのくに権限移譲推進計画」等に基づく適切な協議を実施するほか、移譲後の権限の適切な執行体制を確立します。 ＜単独・共同提案の実施＞ 「地方分権改革に係る提案募集方式」を活用し、市単独又は指定都市市長会等での共同提案を行います。	○	◎	単独・共同提案の実施	3件	9件	○	収入増額										－	－		
2	I 市民協働・官民連携の推進	2 官民連携の推進と民間活力の活用	官民連携地域活性化事業の推進	＜事業の継続実施と検証＞ 10の提言プロジェクトのうち、方向性の示された5事業は継続的に検証を行います。 ＜プロジェクト発足と事業化＞ 方向性の示されていない5事業は、プロジェクトチームの発足や事業スキームの検討を行い、事業化に向け取組んでいきます。	○	○	官民連携による事業の取組（事業の継続・検証）	10事業	10事業	○	－	官民連携による事業の取組（方向性の決定・事業着手）	－	－								－	－	
3	I 市民協働・官民連携の推進	2 官民連携の推進と民間活力の活用	PPP・PFI事業の導入の推進	PPP・PFI導入の調査・検討：3次総、アセットマネジメント基本方針を踏まえ、民間提案については、積極的に対応するとともに、施設整備事業等におけるPFI導入可能性について検討します。また、他都市におけるPFI導入事例についても調査・検討します。	○																	－	－	
4	I 市民協働・官民連携の推進	2 官民連携の推進と民間活力の活用	静岡市土地開発公社の有効活用と長期保有土地の縮減	＜経営健全化計画の推進＞ 健全化計画に基づき、長期保有土地の縮減を図るとともに、保有土地の有効活用を図ります。	○	○	長期保有土地簿価総額	2,493百万円	2,493百万円	○												－	－	
5	I 市民協働・官民連携の推進	3 開かれた市政の推進	遠距離大学等通学費貸与条例の施行	＜条例等の施行＞ 遠距離大学等通学費貸与条例及び同条例施行規則を市民に周知し、H28年4月1日に施行します。	○	○	条例等の整備件数	2件	2件	○												－	－	
6	III 持続可能な財政運営の確立	2 効果的なアセットマネジメントの推進	アセットマネジメント基本方針の推進（公共建築物）	個別施設評価・計画策定支援、進捗管理：概ね、100㎡以上の建物（約800施設）の施設カルテを作成し、施設の基本情報、利用状況、財務状況を明らかにした上で、施設の類型（施設群）ごとに今後のマネジメントの方向性を示し、建築物劣化調査を踏まえた個別の施設計画を作成し実行します。	○																		－	－
7	III 持続可能な財政運営の確立	2 効果的なアセットマネジメントの推進	アセットマネジメント基本方針の推進（インフラ資産）	アセットマネジメント手法の確立：先行実施している道路舗装、橋梁の他、トンネル、河川、農林道、漁港、公園、上下水道などインフラ資産全般にわたる総資産量を把握した上で、構造及び管理水準を見直すと共に長寿命化を図り、投資的経費の縮減に取り組めます。	○																		－	－

No	基本方針	改革の方向	取組項目	取組概要	平成28年度実績								検証（原因・分析）	今後の対応策						
					工程	指標			効果額（単位：千円）			削減人員（単位：人）								
					達成状況	達成状況	指標	計画	実績	達成状況	区分	計画			実績	達成状況	計画	実績		
8	Ⅲ 持続可能な財政運営の確立	2 効果的なアセットマネジメントの推進	公共施設の廃止	①農村環境改善センター：H28年度の廃止に向け、関係課及びJA清水等と施設の管理や利用等について調整するとともに、地域住民等に対して、廃止の必要性を周知します。 ②井川支所別館：不要資産の整理及び地震等による倒壊被害の未然防止のため、土地所有者への別館取壊しに関する事前説明を行うとともに、同施設を廃止します。 ③大平青少年の家：南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家の類似施設を整理した上で、H28年度に当施設を廃止します。	○	○	削減延べ床面積	1565.7㎡	1565.7㎡	○	収入増額								-	-
9	Ⅲ 持続可能な財政運営の確立	2 効果的なアセットマネジメントの推進	アセットマネジメントによる公共建築物の改築等	公共建築物の改築等：基本方針に基づき、公共サービスのあり方や必要性について、市民ニーズや政策適合性、費用対効果などから総合的な評価を行い、計画的に施設整備を実施します。	○	○	削減延べ床面積	459㎡	459㎡		収入増額								-	-
10	Ⅲ 持続可能な財政運営の確立	2 効果的なアセットマネジメントの推進	アセットマネジメントによる公共建築物の長寿命化	公共建築物の長寿命化：アセットマネジメント基本方針に基づき、個別施設の計画的な保全を実施し、長寿命化を図ります。	○						収入増額								-	-
11	Ⅲ 持続可能な財政運営の確立	2 効果的なアセットマネジメントの推進	アセットマネジメントによる資産の有効活用	既存施設の有効活用：アセットマネジメントの観点から、既存市有施設の有効活用を図ります。	○						収入増額								-	-

第3次行財政改革前期実施計画の進捗管理の概要

【財政局】

<達成状況の凡例>

「計画より進んでいる：◎」、「計画通り進捗している：○」、「計画より遅れている：△」、「実績なし：×」、「実施時期が到来していない：-」

No	基本方針	改革の方向	取組項目	取組概要	平成28年度実績										検証（原因・分析）	今後の対応策			
					工程		指標			効果額（単位：千円）			削減人員（単位：人）						
					達成状況	達成状況	指標	計画	実績	達成状況	区分	計画	実績	達成状況			計画	実績	
1	I 市民協働・官民連携の推進	3 開かれた市政の推進	建設業関連業務委託における一般競争入札の拡大	建設業関連業務委託の一般競争入札の入札結果などを分析し実施割合を4割程度に拡大します。	○	△	一般競争入札実施件数の割合	40%程度	32.7%	収入増額								継続業務が多く、業務の確実な履行を求めたことから、過去の完了実績や信頼のある業者を選択する指名競争入札が多く採用されたため、計画値に達しませんでした。	随時、発注状況を確認し、目標達成できるよう担当課に周知します。
2	I 市民協働・官民連携の推進	3 開かれた市政の推進	建設工事における総合評価一般競争入札の拡充	総合評価一般競争入札において引き続き、簡易型Ⅲ型を実施し、入札結果を検証して段階的に件数の拡大に努めます。	○	◎	簡易型Ⅲ型実施件数	20件	29件	収入増額								-	-
3	Ⅲ 持続可能な財政運営の確立	1 健全な財政運営の推進	フローとストックに留意した財政運営	臨時財政対策債以外の市債の抑制：第3次総合計画期間（H27～34年度：8年間）における投資的経費を適正規模に保ち、臨時財政対策債以外の新規の市債発行をコントロールすることで、臨時財政対策債以外の市債残高を縮減します。（※臨時財政対策債は、地方交付税の振替として、国の地方財政計画等により発行可能額が示されるものであるため、除きます。）	○	○	実質公債費比率が改正前の国協議の必要のない16%未満を維持（H26 9.3%）	16%未満維持	7.9%	収入増額								-	-
4	Ⅲ 持続可能な財政運営の確立	1 健全な財政運営の推進	財政の中期見通しの作成と公表	財政の中期見通しの作成と公表：効果的な財政運営を確保するため、第3次総合計画前期実施計画及び第3次行革前期実施計画の期間（4年間）と合わせた中期的な財政の収支見通しを立て、公表します。	○						収入増額							-	-
5	Ⅲ 持続可能な財政運営の確立	1 健全な財政運営の推進	新公会計制度への取組み	財務書類の作成・公表：国の動向を見据えつつ、複式簿記の検討、固定資産台帳の整備、財務書類の作成・活用を行うとともに、公表します。	○						収入増額							-	-
6	Ⅲ 持続可能な財政運営の確立	1 健全な財政運営の推進	普通建設事業における予算執行の適正管理	①執行状況の把握：毎月の「公共事業執行状況調査」により、各課の執行状況を把握し、執行の遅れが生じている場合は、ヒアリングを実施し、早期着手を促すとともに状況を分析します。 ②改善策の実施：執行状況の分析結果をもとに、事業課での取組みや予算編成及び執行、契約方法等を検討し、早期発注を図ります。	○	◎	9月末時点の普通建設事業の契約率（一般会計）（H26 58.9%）	60%	78.4%	収入増額								-	-
7	Ⅲ 持続可能な財政運営の確立	1 健全な財政運営の推進	予算編成作業を通じた財源不足額の圧縮	財源不足額の圧縮：毎年の予算編成において、事業の重点化や事業内容の精査などにより予算要求時の財源不足額を圧縮し、財政の健全性を確保します。	○	○	財源不足額（H26予算編成財源不足額55億円）	60億円以下	H28当初予算財源不足額50億円	収入増額								-	-

No	基本方針	改革の方向	取組項目	取組概要	平成28年度実績									検証(原因・分析)	今後の対応策			
					工程	指標			効果額(単位:千円)			削減人員(単位:人)						
					達成状況	達成状況	指標	計画	実績	達成状況	区分	計画	実績			達成状況	計画	実績
16	Ⅲ 持続可能な財政運営の確立	1 健全な財政運営の推進	未利用地等の売却の推進	売却可能な物件を調査し、未利用地等の積極的な売却を進めます。	○	◎	売却額	350,000千円	356,891千円	◎	収入増額	350,000	356,891				—	—
17	Ⅲ 持続可能な財政運営の確立	1 健全な財政運営の推進	自動販売機の貸付制度の推進	自動販売機の設置を、目的外使用許可から行政財産の貸付の方法に切り替えていきます。	○	△	新規貸付台数	142台	104台	△	収入増額	44,143	41,261				新たに貸付可能な施設及び目的外使用許可から貸付に切り替え可能な施設について、自動販売機設置事業者の公募を行いました。入札不調になった施設があり計画値に達しませんでした。	最低応募価格は原則20%に設定していましたが、過去に入札不調になった施設については、別途最低応募価格の設定を検討します。
18	Ⅲ 持続可能な財政運営の確立	1 健全な財政運営の推進	ふるさと寄附金制度の推進	寄附者増加策の検討・実施：寄附者数を増加させることにより、新たな財源の確保を図るため、寄附者に対する地元特産品等の御礼の品の導入等を含めた方策を検討した結果、前倒しして返礼品の導入を実施します。	◎	△	寄附者数(H20～25の平均12人)	23,600人	15,259人	△	収入増額	132,351	108,298				全国的に返礼品競争が過熱している中、節度ある返礼品及びPR活動にて寄附金を募った結果、寄附者数及び寄附金収入が計画値に達しませんでした。	<ul style="list-style-type: none"> ・総務省通知(返礼品のあり方等)への対応を含め、ふるさと納税を活用したシティプロモーション展開の方策を再検討していきます。 ・事業所管課が積極的に寄附を集めるようにする仕組みづくりや、寄附がしやすい施策(メニュー)の選定を検討します。 ・返礼品の公募を検討します。
19	Ⅲ 持続可能な財政運営の確立	1 健全な財政運営の推進	競輪事業による一般会計への安定的な繰出	<p>①競輪開催業務等の一括委託：一括委託の契約更新をします。</p> <p>②ファンサービスの充実：競輪事業会計の主要目的である一般会計への繰出金を継続するため、売上向上、ファンサービスの充実に関する各種事業を展開します。</p>	○	○	一般会計への繰出金	400,000千円	400,000千円	○	収入増額	400,000	400,000				—	—
20	Ⅲ 持続可能な財政運営の確立	1 健全な財政運営の推進	庁舎の有効活用	庁舎の有効活用の推進及び賃借している事務スペースを減らします。	○	—	有効活用箇所数	—	—		収入増額	実績報告	790				—	—
21	Ⅲ 持続可能な財政運営の確立	1 健全な財政運営の推進	基金運用による利子負担の軽減	債券の運用：基金の積立金が増加していく中、より効率的に資金運用を行い、運用収入を確保することで、一般財源負担額の軽減を図る。	○	○	債券購入運用額	12.9億円	12.9億円	△	収入増額	21,896	21,818				平成27年度下期における運用利率を計画では、0.2%と見込んでいたが、実績では0.113%・0.126%となったことにより計画値に達しませんでした。	運用を行う際、将来の運用期間を考慮し、市場の状況を情報収集することで、その時点でできる限り有利な利率で運用を行います。

第3次行財政改革前期実施計画の進捗管理の概要

【経済局】

＜達成状況の凡例＞

「計画より進んでいる：◎」、「計画通り進捗している：○」、「計画より遅れている：△」、「実績なし：×」、「実施時期が到来していない：－」

No	基本方針	改革の方向	取組項目	取組概要	平成28年度実績									検証(原因・分析)	今後の対応策				
					工程	指標			効果額(単位:千円)				削減人員(単位:人)						
						達成状況	達成状況	指標	計画	実績	達成状況	区分	計画			実績	達成状況	計画	実績
1	I 市民協働・官民連携の推進	1 市民参加・協働の推進	NPO・地域・大学等との協働事業の推進(農地保全・農業施設維持管理における地域との共同)	①地元説明会の開催と新規協定の締結:多面的機能支払の地元説明の開催等により周知徹底し、新規組織との協定締結を図ります。 ②取組面積の増加:現在取組中の組織については取組面積について見直しを行い、取組面積の増加を図っていきます。	○	○	新規組織認定数(H30まで8地区)	4地区	8地区	収入増額	削減額	投資的経費	-	-					
					○	○	保全農地増加面積(H30まで116ha)	56ha	124ha										
2	I 市民協働・官民連携の推進	2 官民連携の推進と民間活力の活用	民間等と連携した市民サービスの向上(こどもクリエイティブタウンにおける企業との協働)	①企業との連携:土日、夏休み期間中等、実際の企業に協力してもらい、リサーチの魅力的な運営を展開します。さらに地元企業から講師を招き、しごとものづくり講座等を開催、こどもたちに地元企業の仕事に興味を持ってもらう場を提供します。 ②学校等との連携:課題となっている平日の利用増加に向けては、小学校の社会教育に組み込めないか検討を進め、未就学児の平日利用推進についても幼稚園、保育園等への周知強化を図ります。	○	○	企業に協力を得られた講座実施回数	200回以上	260回	収入増額	削減額	投資的経費	-	-					
3	I 市民協働・官民連携の推進	2 官民連携の推進と民間活力の活用	地域等と連携したまちづくりの推進(民間団体とのまちづくり)	①まちづくり団体との連携強化等 ・市と個別のまちづくり団体との連携を強化し、民間活力の導入・活用を推進します。 ②まちづくり団体の新たな活動支援 ・事業者らの有志グループの新たな活動を支援し、まちづくり団体の育成・発展を推進します。	○	-	市支援策を受け創出された、まちづくり団体の活動数	-	-	収入増額	削減額	投資的経費	-	-					
4	I 市民協働・官民連携の推進	2 官民連携の推進と民間活力の活用	静岡市勤労者福祉サービスセンター会員増加策の支援	会員増加の支援:当該センターの認知度向上や、会員数増加のための支援策を調査・検討した後、支援策を実施することで会員の増加につなげます。(【目標会員数又は事業所数】H35年度末:20,000人又は3,000社)	○	○	団体の収入に占める補助金の割合	16%	14.8%	収入増額	削減額	投資的経費	-	-					
5	I 市民協働・官民連携の推進	2 官民連携の推進と民間活力の活用	ツインメッセ静岡の利用促進	①中部横断自動車道開通に伴う山梨県内企業との交流促進:静岡に販路拡大を目指す企業・団体に向け、(公財)静岡産業振興協会による「ツインメッセ静岡及び市内観光施設の見学会」の開催やイベント・展示会等について積極的な情報交換の実施など交流活動を強化します。 ②利用促進策及びPR等の検討実施:市内のコンベンション施設及び関連団体等と連携し、催事の誘致活動や利用者の満足度向上を図る新たなサービスを検討実施するとともに、併せてPR活動を推進します。	○	○	②施設の利用率向上 ・大展示場 北館	1%以上増(H25比)	北館3.8%増	収入増額	削減額	投資的経費	<ul style="list-style-type: none"> ・H25と比較して、利用件数は13件増加しているものの、施設利用1件あたりの利用日数は、H25:2.7日からH28:2.4日となっております。 ①中部横断自動車道開通に向け、山梨県内企業・団体への営業活動を実施します。(施設見学会参加企業への継続的なアプローチ) ②グランシップと連携し、2020年オリンピック・パラリンピック開催時の催事誘致を積極的に推し進めます。(平成28年度には「大規模コンベンションの共同誘致に関する協定」を締結。) 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設利用率向上に向け、営業活動を強化します。 					
					○	△	②施設の利用率向上 ・大展示場 南館 ・小展示場 第3展示場、17、2、3、5、6、7、8、9、10、11、12、13、14、15、16、17、18、19、20、21、22、23、24、25、26、27、28、29、30、31、32、33、34、35、36、37、38、39、40、41、42、43、44、45、46、47、48、49、50、51、52、53、54、55、56、57、58、59、60、61、62、63、64、65、66、67、68、69、70、71、72、73、74、75、76、77、78、79、80、81、82、83、84、85、86、87、88、89、90、91、92、93、94、95、96、97、98、99、100、101、102、103、104、105、106、107、108、109、110、111、112、113、114、115、116、117、118、119、120、121、122、123、124、125、126、127、128、129、130、131、132、133、134、135、136、137、138、139、140、141、142、143、144、145、146、147、148、149、150、151、152、153、154、155、156、157、158、159、160、161、162、163、164、165、166、167、168、169、170、171、172、173、174、175、176、177、178、179、180、181、182、183、184、185、186、187、188、189、190、191、192、193、194、195、196、197、198、199、200、201、202、203、204、205、206、207、208、209、210、211、212、213、214、215、216、217、218、219、220、221、222、223、224、225、226、227、228、229、230、231、232、233、234、235、236、237、238、239、240、241、242、243、244、245、246、247、248、249、250、251、252、253、254、255、256、257、258、259、260、261、262、263、264、265、266、267、268、269、270、271、272、273、274、275、276、277、278、279、280、281、282、283、284、285、286、287、288、289、290、291、292、293、294、295、296、297、298、299、300、301、302、303、304、305、306、307、308、309、310、311、312、313、314、315、316、317、318、319、320、321、322、323、324、325、326、327、328、329、330、331、332、333、334、335、336、337、338、339、340、341、342、343、344、345、346、347、348、349、350、351、352、353、354、355、356、357、358、359、360、361、362、363、364、365、366、367、368、369、370、371、372、373、374、375、376、377、378、379、380、381、382、383、384、385、386、387、388、389、390、391、392、393、394、395、396、397、398、399、400、401、402、403、404、405、406、407、408、409、410、411、412、413、414、415、416、417、418、419、420、421、422、423、424、425、426、427、428、429、430、431、432、433、434、435、436、437、438、439、440、441、442、443、444、445、446、447、448、449、450、451、452、453、454、455、456、457、458、459、460、461、462、463、464、465、466、467、468、469、470、471、472、473、474、475、476、477、478、479、480、481、482、483、484、485、486、487、488、489、490、491、492、493、494、495、496、497、498、499、500、501、502、503、504、505、506、507、508、509、510、511、512、513、514、515、516、517、518、519、520、521、522、523、524、525、526、527、528、529、530、531、532、533、534、535、536、537、538、539、540、541、542、543、544、545、546、547、548、549、550、551、552、553、554、555、556、557、558、559、560、561、562、563、564、565、566、567、568、569、570、571、572、573、574、575、576、577、578、579、580、581、582、583、584、585、586、587、588、589、590、591、592、593、594、595、596、597、598、599、600、601、602、603、604、605、606、607、608、609、610、611、612、613、614、615、616、617、618、619、620、621、622、623、624、625、626、627、628、629、630、631、632、633、634、635、636、637、638、639、640、641、642、643、644、645、646、647、648、649、650、651、652、653、654、655、656、657、658、659、660、661、662、663、664、665、666、667、668、669、670、671、672、673、674、675、676、677、678、679、680、681、682、683、684、685、686、687、688、689、690、691、692、693、694、695、696、697、698、699、700、701、702、703、704、705、706、707、708、709、710、711、712、713、714、715、716、717、718、719、720、721、722、723、724、725、726、727、728、729、730、731、732、733、734、735、736、737、738、739、740、741、742、743、744、745、746、747、748、749、750、751、752、753、754、755、756、757、758、759、760、761、762、763、764、765、766、767、768、769、770、771、772、773、774、775、776、777、778、779、780、781、782、783、784、785、786、787、788、789、790、791、792、793、794、795、796、797、798、799、800、801、802、803、804、805、806、807、808、809、810、811、812、813、814、815、816、817、818、819、820、821、822、823、824、825、826、827、828、829、830、831、832、833、834、835、836、837、838、839、840、841、842、843、844、845、846、847、848、849、850、851、852、853、854、855、856、857、858、859、860、861、862、863、864、865、866、867、868、869、870、871、872、873、874、875、876、877、878、879、880、881、882、883、884、885、886、887、888、889、890、891、892、893、894、895、896、897、898、899、900、901、902、903、904、905、906、907、908、909、910、911、912、913、914、915、916、917、918、919、920、921、922、923、924、925、926、927、928、929、930、931、932、933、934、935、936、937、938、939、940、941、942、943、944、945、946、947、948、949、950、951、952、953、954、955、956、957、958、959、960、961、962、963、964、965、966、967、968、969、970、971、972、973、974、975、976、977、978、979、980、981、982、983、984、985、986、987、988、989、990、991、992、993、994、995、996、997、998、999、1000												
					○	○	②施設の利用率向上 ・会議室	現状維持	現状維持	投資的経費									
6	I 市民協働・官民連携の推進	2 官民連携の推進と民間活力の活用	駿府匠宿と駿府楽市を活用した地場産業の振興	①地場産品販路拡大基礎調査、駅楽市への誘導対策などの情報発信対策や新商品開発を市と連携して実施し、販路拡大を行うことで、地場産業の振興につなげていきます。 ②駿府匠宿において、企画展等の実施や有料施設のリニューアル、他施設との連携により入場者数の増加に努めます。	△	△	静岡駅楽市・鞠子楽市の売上増加による地場産業への貢献 ①売上げ額	1.5%増(前年度比)	3%減	収入増額	削減額	投資的経費	<ul style="list-style-type: none"> ・工芸品について、土産物として購入していただけの商品づくりを目指し、既存商品のブラッシュアップや新商品開発を行い、楽市での売上増加につなげていきます。 ・ただし、リニューアルに伴う競合店の休業の影響があった27年度実績値と比較し3%減となりました。 ・駿府匠宿においては、企画展やSNS等を通じて、本市伝統工芸・地場産業をPRしました。が、利用者ニーズの多様化等により来場者数は減少となりました。 ・お客様の声を反映し駐車場利用料金の見直し等、サービス向上に努めましたが、そのメリットを周知できず、入場者数の増加にはつながりませんでした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・駿府匠宿で実施しているアンケートを分析して利用者ニーズを把握し、展示や創作体験に反映します。 ・アンケートの結果、駐車場利用料金の引き下げについて、利用者から高い満足度を得ていることから、更なる周知を行い入場者数の増加につなげます。 ・アセットマネジメントに基づき、駿府匠宿の施設改修を行い、魅力ある施設を目指します。 ・増加するクルーズ訪日外国人客を取り込むため、他の民間企業と連携し、駿府匠宿の入場者数の増加を目指します。 					
					○	△	②駿府匠宿入場者数(H25 272,560人)	270,000人	240,180人										

No	基本方針	改革の方向	取組項目	取組概要	平成28年度実績										検証（原因・分析）	今後の対応策		
					工程	指 標				効果額（単位：千円）				削減人員（単位：人）				
						達成状況	達成状況	指標	計画	実績	達成状況	区分	計画	実績			達成状況	計画
7	I 市民協働・官民連携の推進	3 開かれた市政の推進	新たな情報発信への取組（オキシスの情報発信）	平成29年度にオキシスのブランド戦略を構築するため、専門家とともに調査研究を行い、プロモーションの方向性・計画を再構築します。計画立案後は、計画に基づいたプロモーションの実施、効果判定を行います。	○	-	オキシス関連施設、イベント入れ込み客数（H27 694千人）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8	I 市民協働・官民連携の推進	3 開かれた市政の推進	オキシス地域おこし条例の施行	条例等の施行：静岡市オキシス地域おこし条例を市民に周知し、H27年4月1日に施行します。静岡市オキシス地域おこし計画をH27年度に策定します。	○	-	条例等の整備件数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
9	I 市民協働・官民連携の推進	3 開かれた市政の推進	工場立地法第4条の2第2項の規定に基づく準則を定める条例の施行	確保すべき緑地等の面積率について、市独自に、地域の実情に応じた基準を設定する条例を制定し、市内の特定工場における敷地の有効活用を促進します。 ①「工場立地法第4条の2第2項の規定に基づく準則を定める条例」の制定・施行・周知・運用を行います。	○	○	条例の整備件数	1件	1件	-	-	-	-	-	-	-	-	
10	III 持続可能な財政運営の確立	1 健全な財政運営の推進	事務事業の見直しによるコスト削減等（スズメバチの巣の駆除業務の縮小・廃止）	スズメバチの巣の駆除は、本来建物等の所有者・管理者が駆除を行うべきであるため、 ①27～28年度は、巣を早期発見し、速やかに駆除ができるようホームページや印刷物で周知を図ります。今後、所有者がはっきりしている場合は、自己の責任で駆除を行うようにするため、現在、個人及び民間事業者を対象に市が行っている委託業務については、廃止します。 ②28年度は、制度変更の緩和措置として、市で駆除費用の一部を助成するとともに、所有者が不明で、市民に対して危険性が高いものについては、市が駆除を行います。 ③29年度から養蜂業の保護を目的として実施してきたスズメバチの巣の駆除は、廃止します。	○	○	市民の要望に対応した駆除の実施率 上段：駆除数 下段：実施率	1,000件 100%	723件 100%	◎	収入増額	-	-	-	-	-	-	-
11	III 持続可能な財政運営の確立	1 健全な財政運営の推進	事務事業の見直しによるコスト削減等（市場HPの統合・甲府市地方卸売市場交流事業の廃止）	①市場として市民へ提供したい情報の見直しを行い市HPへ統合します。 ②甲府市場との交流事業は、市場まつりに参加するのみで事業が形骸化しているため廃止します。	○	○	事業統合数	-	-	○	収入増額	-	-	-	-	-	-	-
12	III 持続可能な財政運営の確立	1 健全な財政運営の推進	事務事業の見直しによるコスト削減等（温泉施設の利用率向上・経営改善）	オキシス市営温泉等活性化サポート事業を実施し、各施設の利用人数を毎年3%ずつ増加させることにより、全ての温泉施設において経営状態が改善されている状態を目指します。 ①各施設で新規顧客を獲得し続けるための専門研修の実施、②各施設のスタッフおもてなしの心向上研修の実施	○	△	利用人数 （5施設合計）	167,960人	136,857人	-	-	-	-	-	-	-	-	指標である来訪者数の減少は、夏季の天候不順や施設へのアクセス道路が災害によって通行止め等の予期できない外的要因の影響によります。
13	III 持続可能な財政運営の確立	1 健全な財政運営の推進	事務事業の見直しによるコスト削減等（日の出センターの利活用向上等）	①【本館】港湾関係利用者などの意見集約を踏まえ、施設本来のあり方などを再検討し、利活用の向上を図ります。また、次期指定管理（H28.4月～）に向け、「利用料金制」の研究・是非検討を進めます。 ②【別館】共益費の適正化、普通財産化を図るとともに、引き続き売却作業を進めます。なお、共益費については関係者と協議を行い、削減の見直しを行います。	△	◎	利用者満足度	75%	88.1%	△	収入増額	-	-	-	-	-	-	本市の海洋文化拠点構想や国際クルーズ拠点化、物流機能の移転等日の出地区の再開発が進む中、日の出センター周辺の状況を見ながら日の出センターの在り方を検討しているところであるため、別館の普通財産化についても同様に検討を行いました。 削減額については、平成28年度計画は、共益費と指定管理料（平成27年度指定管理料基準）の合計が対26年度と比べ864千円削減するとしていました。共益費については、計画通り削減を実施しましたが、指定管理料は、平成28年度の指定管理更新に伴い、光熱水費の上昇等で、基準とした平成27年度指定管理料と比べ、293千円高くなったため、全体の削減額は、571千円と目標値を下回りました。

No	基本方針	改革の方向	取組項目	取組概要	平成28年度実績										検証(原因・分析)	今後の対応策		
					工程	指標				効果額(単位:千円)				削減人員(単位:人)				
					達成状況	達成状況	指標	計画	実績	達成状況	区分	計画	実績	達成状況			計画	実績
14	Ⅲ 持続可能な財政運営の確立	1 健全な財政運営の推進	事務事業の見直しによるコスト削減等(由比地区地すべり管理センター監視カメラの見直し)	①監視カメラのインターネット接続を止め、通信費の削減を図ります。 ②由比地区地すべり防止区域における緊急連絡体制の強化を図ります。	○	○	廃止事業数	-	-		収入増額						-	-
15	Ⅲ 持続可能な財政運営の確立	1 健全な財政運営の推進	事務事業の見直しによるコスト削減等(自然災害による農道被害の適正な把握)	台風や地震等の自然災害で農道への被害が同時多発的に起こった場合を想定し、部農会と共有図面を持つことで、現状確認を迅速に効率よく行います。ゼンリン地図に掲載されていない山間地に農道がある部農会に対してコピーの手渡しを実施します。また、年度毎に当該年度の新規・廃止農道を整理し、該当地域の図面の更新作業を行います。	○	-	見直し業務	-	-		収入増額						-	-
16	Ⅲ 持続可能な財政運営の確立	1 健全な財政運営の推進	企業立地の推進	企業立地の推進・計画作成:「企業立地戦略指針」及び「企業立地基本計画(計画期間: H25年度~H29年度)」に基づき、企業訪問等の誘致活動や立地費用に対する助成等により、市内への企業立地を推進するとともに、H30年度には新たな「企業立地基本計画」を策定します。	○	◎	新規立地件数(H25 17件)	17件	43件		収入増額						-	-
					○	◎	雇用創出人数(H25 126件)	139人	307人		削減額							
											投資的経費							

第3次行財政改革前期実施計画の進捗管理の概要

【消防局】

<達成状況の凡例>

「計画より進んでいる：◎」、「計画通り進捗している：○」、「計画より遅れている：△」、「実績なし：×」、「実施時期が到来していない：-」

No	基本方針	改革の方向	取組項目	取組概要	平成28年度実績										検証(原因・分析)	今後の対応策			
					工程	指標			効果額(単位:千円)				削減人員(単位:人)						
					達成状況	達成状況	指標	計画	実績	達成状況	区分	計画	実績	達成状況			計画	実績	
1	I 市民協働・官民連携の推進	1 市民参加・協働の推進	NPO・地域・大学等との協働事業の推進(応急手当普及啓発活動)	①普及啓発活動の実施 ・希望する小中学校に緊急手当普及啓発活動を図ります。(対象 小学5年生・中学2年生) ・毎年広域二市二町を含む管内の全小中学校188校(約15,000人)から希望を募り、依頼された学校への救命講習を行うことにより、応急手当の普及を図ります。 ②救命講習に対し、eラーニングの事前講習を行うことで受講時間を短縮します。	○	◎	救命講習受講者数	12,500人	18,830人	△	収入増額							-	-
2	II 質の高い行政運営の推進	1 人材育成・活用の推進	消防職員の人材育成(消防吏員の基本能力及び専門能力の向上)	【人材育成】「消防局技能伝承制度」を新設し、中堅以下の職員へ知識及び技術を伝承する伝承官を指名します。また、「(仮称)消防吏員能力向上プラン」を新設し、集中的な研修により消防業務各分野のスペシャリストを育成します。	△	×	スペシャリスト認定数	-	-	△	収入増額								消防広域化に伴い管轄区域が静岡市外にも及び、職員数も1,000人を超える規模に拡大しています。そのような状況の中で、伝承官を派遣し、広域な区域(消防署所)及び多数の職員に伝達していく体制から、消防、救急及び救助業務等の各分野における専門的な知識を備えたスペシャリストを育成していく方向(伝達体制から自ら学ぶ体制)への転換期を迎えています。
3	II 質の高い行政運営の推進	1 人材育成・活用の推進	消防職員の人材育成(火災調査体制の充実)	火災調査に関する啓発、助言及び指導のできる者「火災調査アドバイザー」を育成し、専門的知識、技術の向上を図ります。また、他都市で開催される調査技術会議等へ積極的に参加させ、職員の知識向上を図ります。	○	○	火災調査アドバイザー認定数	36人	36人	△	収入増額							-	-
4	II 質の高い行政運営の推進	1 人材育成・活用の推進	査察に関する専門知識・技術の向上	立入検査技術の向上及び違反是正を主とした模擬査察研修を行うことにより、職員より専門的な知識、技術の向上を図ります。	○	◎	研修受講者数	120人	184人	△	収入増額							-	-
5	II 質の高い行政運営の推進	1 人材育成・活用の推進	消防職員の人材育成(航空支援要員の育成)	支援要員を確保することにより、消防ヘリコプターによる災害対応を安定的に行い、市民の安全安心に寄与することができます。	○	◎	支援要員新規指定者数	3人	5人	△	収入増額							-	-
6	II 質の高い行政運営の推進	2 効率的な組織体制の確立	消防救急広域化による組織体制の充実	広域化による現場要員の拡充：広域化後も円滑な消防活動が行えるよう、専門知識・技術の共有化や職員の融合を図り、H28年4月1日の広域化を目指すとともに、現場要員を拡充します。	○	○	現場要員の拡充	5人	5人	△	収入増額							-	-
7	II 質の高い行政運営の推進	3 ICTの高度利用による情報化の推進	消防活動支援情報のICT化促進	消防活動支援情報のデジタル化：消防活動支援情報をデジタル化し、早期に提供できるシステムを整備することで、各種被害情報等を提供し、情報の収集と共有を図るとともに、被害軽減につなげます。	○	○	災害対応等の活動に支障となる故障等の発生件数	0件	0件	△	収入増額							-	-

No	基本方針	改革の方向	取組項目	取組概要	平成28年度実績										検証（原因・分析）	今後の対応策			
					工程		指標			効果額（単位：千円）				削減人員（単位：人）					
					達成状況	達成状況	指標	計画	実績	達成状況	区分	計画	実績	達成状況			計画	実績	
8	Ⅱ 質の高い行政運営の推進	3 ICTの高度利用による情報化の推進	保有映像情報の有効活用	映像システムの運用：システム環境整備に係る調整及び技術検証作業や、システム改修を行い、映像情報の相互情報提供が可能な環境を構築します。	○	○	保有映像情報の提供箇所	3箇所	3箇所	×	収入増額							-	-
9	Ⅲ 持続可能な財政運営の確立	1 健全な財政運営の推進	事務事業見直しによるコスト削減等（消防車両の小型化）	狭隘道路対策及び健全な財政運営を図るため、消防車両の小型化を実施します。	×	×	小型化する消防車両の台数	1台	0台	×	収入増額							更新基準を充たした消防団車両を順次更新していく中で、平成28年度に1台の車両を小型化する予定でしたが、他の車両に不具合が見つかり、予定していた車両と組み替えて他の車両を更新したことにより、実績なしとなりました。	前期実施計画の車両更新計画を見直し、消防車両を適正に更新していきます。なお、実施計画に遅れが生じていますが、財政上有利な財源を活用し、計画的に更新を実施していきます。
											削減額								
											投資的経費	8,683	0						